

丸山 景右の
いい家を建てる!
プロが教える雨楽な家づくりの極意



丸山 景右(まるやま けいすけ)
株式会社 リック 代表取締役

「グリーン住宅ポイントを上手に活用しよう」

コロナ禍での住宅取得を支援するため、国の「グリーン住宅ポイント制度」が始まっています。昨年12月15日から今年10月31日までの契約が対象で、一定の省エネ性能をもつ住宅の新築やリフォーム等にポイントが付与され、工事費や商品に交換できるというものです。

まず新築の場合は、「①高い省エネ性能等を有する住宅」(認定長期優良住宅、認定低炭素建築物、性能向上計画認定住宅、ZEH)の場合には40万ポイント、「②省エネ基準に適合する住宅」の場合には30万ポイントが付与されます。さらに次の(1)~(4)のいずれかに該当すれば、ボーナスポイントが最大100万ポイント付与されます。(1)東京圏から移住するための住宅、(2)18才未満の子3人以上の多子世帯が取得する住宅、(3)キッチン、浴室、トイレ、玄関のうちいずれか2つ以上が複数箇所ある三世帯同居仕様の住宅、(4)災害リスクの高い区域(土砂法に基づく土砂災害特別警戒区域等)から移住するための住宅です。

ポイントは1ポイントにつき1円に換算され、商品に交換するか、追加工事の費用にあてることができます。対象商品は「新た

な日常、省エネ、防災、健康、家事負担軽減、子育て支援、地域振興」に資する商品(例えばパソコン)となります。追加工事についても、テレワークや感染予防等になる「新たな日常や防災」に資する追加工事が対象です。

次にリフォームに関して対象となるのは、窓や外壁等の「断熱改修」または、太陽熱利用システムや面水型トイレ等を取り付ける「エコ住宅設備」のいずれかの工事が必須となり、1戸あたり最大30万ポイント、特例の場合は最大60万ポイントが付与されます。

注意すべきことは、今年の10月31日までに工事請負契約等をお渡しポイントの申請を行うこと、予算の執行状況によっては締め切りが早まる可能性があるという点です。ポイントの申請は工事前にも行うことができ、施主に限らず工務店が代理で行うことも可能。国交省のグリーン住宅ポイントを活用し、上手に家づくりを進めましょう。

	対象住宅	発行ポイント	
		基本の場合	特例の場合※
新築	①高い省エネ性能等を有する住宅 (認定長期優良住宅、認定低炭素建築物、性能向上計画認定住宅、ZEH)	40万ポイント/戸	100万ポイント/戸
	②省エネ基準に適合する住宅 (断熱等級4が一次エネルギー4以上を満たす住宅)	30万ポイント/戸	60万ポイント/戸
	※特例の場合(次のいずれか)	(1)東京圏からの移住 (2)多子世帯が取得する住宅 (3)三世帯同居仕様	(4)災害リスクが高い区域からの移住
リフォーム	対象住宅	上限ポイント	
	①断熱改修 or エコ住宅設備 [必須] ②耐震改修(任意) ③バリアフリー改修(任意) ④リフォーム関係保険等の加入(任意)	基本の場合 30万ポイント/戸	特例の場合☆ 60万ポイント/戸
	☆上限特例(1)若者・子育て世帯は上限を45万円に引き上げ。既存住宅の購入を伴うときは上限60万円 (2)若者・子育て世帯以外の世帯で安心R住宅の購入を伴うときは上限45万円		

Topics

今月の気になるものをご紹介



想い出リメイク「ランドセルツール」

ランドセルの「かぶせ」をリメイクした折りたたみ椅子です。ランドセルはもともと丈夫な作り(皮革製品)。まだまだ使えそうだけど不用品、卒業式には書き置きが加わって、ますます処分できない…。そのランドセルが想い出とともに耐久性抜群、「使える家具」に生まれ変わります。
販売元：(有)ヒノキクラフト
公式ホームページ <https://hinokicraft.jp>



ビクチャーレールオールインセット「TAKIYA G-2」

美術品展示専用の金具製造会社が作る家庭用ビクチャーハンギングシステムセット。子どもの作品や写真パネルを壁を傷つことなく安全に吊下げ展示します。展示物の移動、高さ調整も自由自在。卓越したデザインとクオリティで、耐久性・堅牢性をも併せ持つ日本製。
販売元：タキヤ(株)
公式ホームページ <https://takiya.com>



ファイバーBOX「IREMONYAの収納」

イレモンヤオリジナルの自然派繊維ポード・ファイバーを使った収納BOX。静電気の影響を受けにくい素材で、ほこりなどの汚れがつきにくくメンテナンスが容易。軽く強度もあり、長く使えます。かわいいデザインとポップな色展開で、子ども部屋にぴったり。オーダーメイド可能。
販売元：(株)友屋
公式ホームページ <https://www.iremonya.com>

URAC

vol.38
2021.06

特集
ライフステージで
変化する子ども部屋



contents

- 今月の「雨楽な家」 山梨県・U様邸
- 丸山景右の「いい家を建てる」 vol.38「グリーン住宅ポイントを上手に活用しよう」
- Topics ランドセルツール・TAKIYA G-2・IREMONYAの収納



ライフステージで変化する子ども部屋

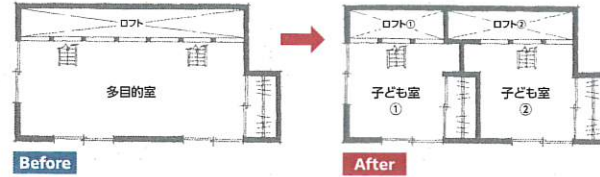
親子のふれあいを大切に、成長に合わせた子ども専用スペースを作りましょう

子どもの成長とともに子ども部屋の使い方は変化します。子どもが個室を必要とする期間は意外と短いもの。新築時は構造の許す限り間仕切り壁を最小限にとどめ、広く開放的な多目的空間にすることをおすすめします。

将来、子どもの成長や人数に合わせて仕切ることができず。子どもが巣立った後は、夫婦それぞれのパーソナルスペースにしてもよし、客室にしてもよし。ライフステージの変化に柔軟に対応できる子ども部屋にしましょう。

子ども部屋の間仕切り工事事例

築後10年の「雨楽な家」施工様邸で、子ども部屋の間仕切り工事を行いました。中学生と小学生の姉弟のために、オープンだったスペースに間仕切り壁と収納を設置。ロフトも仕切りました。新築時から将来、二つに仕切れることを考慮して建具・照明スイッチや窓、ロフトに上がるはしなどが配置されていたので、作業はスムーズに進み、工事完了。条件がそろったバランスの良い2部屋が完成しました。



① 幼児期

親の目の届くところで遊ぶ

安全にハイハイ、よちよち歩きができる広い空間で親子一緒に遊びます。子どもはこの時期の親子の絆を基盤にして成長します。個室は時期尚早、まずは専用のおもちゃ箱で、自分のものに責任を持たせる練習を。成長に合わせて壁や家具で仕切ります。

自我の芽生え



自我の形成



自立の準備



② 小学校低学年

宿題は家族のそばで

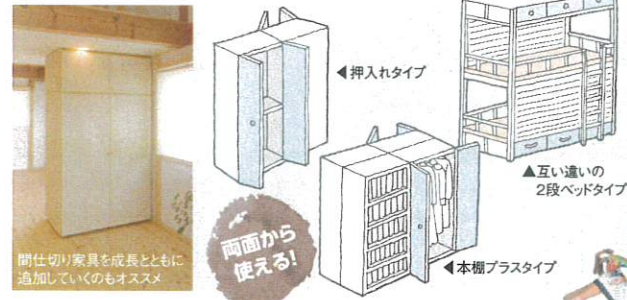
専用の机を用意し、自分の領域を管理する意識を持たせましょう。写真はダイニング横に設けた学習コーナー。親は家事をしながら子どもの様子を見守ることができます。

③ 小学校高学年

一人になりたい時は子ども部屋へ

子どもが自分の世界を持ち始めた自立の準備。プライバシーを尊重する環境を整えます。必要以上に広く快適な子ども部屋は考えも。出てこなくなります。わが子を個人として認め、親子の信頼があれば、鍵は必要ありません。無断で入らない、必ずノックする、などのルールを家族で決めましょう。

可動式の間仕切り家具いろいろ



子ども部屋3つのルール

- 1 玄関から子ども部屋の間にLDKを通ること
 - 2 LDKの家族の気配が子ども部屋に届くこと
 - 3 広くて快適すぎる子ども部屋にしないこと
- 家族と程よい距離を保ちながら自然とコミュニケーションがとれる子ども部屋が理想です。

今月の「雨楽な家」 山梨県・U様邸

玄関以外は上下分離 思いやり二世帯住宅

リビングの勉強スペースで宿題もはかどります。

シンクとテーブルが一直線、会話は必ず家事もラクラク。

白い清楚な外壁に軽やかな切妻屋根のシンプルデザイン。

1階は親世帯、2階は子世帯。玄関は土間収納で大容量を確保。2階リビングは東半分が個室にもなる柔軟なプランニング。耐震等級3で安全安心。テストは"urac and"でシンプル&ビューティ。